

科目名	管楽演奏研究 I～IV [院]	形態	実技	開講期	春・秋
担当教員	実技担当教員	単位	2	年次	1,2

### ＝授業科目の目標＝

2年次最終の修士演奏へ向け準備をしてゆきます。修士演奏のプログラムを組み立てながら、それぞれの作品について作曲家やその時代背景を考察し、楽曲分析を通して作品への理解を深めてゆきます。

### ＝履修の条件と学習の方法＝

各個人がプログラムを組み立て、作曲家の研究や楽曲分析を行いながら、実技レッスンを受けます。担当教員とディスカッションを重ねて演奏技術・音楽表現やプログラミングを磨いてゆきます。

### ＝授業内容＝

各期 14 回の指導を行います。  
学年ごとの授業内容は下記のとおりです。

#### (1年次)

- 1 期 修士演奏へ向け、プログラム A の組み立てをします。作曲家の研究、楽曲分析に取り組み、教員とのディスカッション形式のレッスンを始めます。
- 2 期 修士演奏へ向けプログラム B の組み立てをします。1 期の学修を踏まえ、更なる研究、分析を進めながら、実技のレッスンを進めて行きます。

#### (2年次)

- 3 期 1 年次 (1 期・2 期) に組み立てた A・B プログラムをより進展させて修士演奏のプログラムを決定します。1 曲ごとのレッスンからプログラム全体を演奏するレッスンへと移行させます。
- 4 期 修士演奏プログラムの最終仕上げをします。実際の演奏をイメージし、演奏家としてのマナーや、音楽とは、演奏とは何かという課題からも掘り下げて行きます。

### ＝成績評価の方法と評価の基準＝

作曲家の研究・楽曲分析における研究内容の深さと、実技レッスンのディスカッション内容、各個人の中でなされた演奏技術および音楽表現の向上への努力・成果とを合わせて総合的に評価します。

### ＝その他＝

特になし